

利用者にも喜ばれる、働き甲斐のある福祉職場に

職場環境改善の手立ては？



福井 節子 議員

答

知恵を出し合いイメージアップを進める

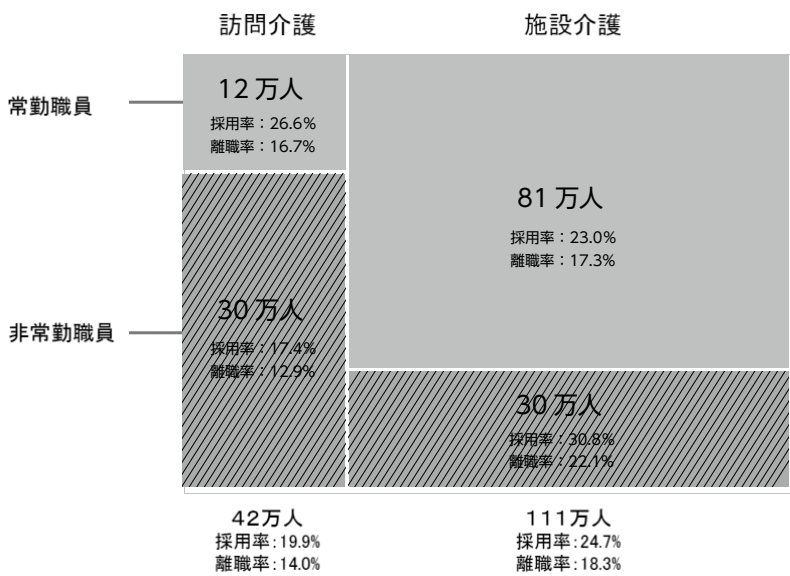
問

福祉現場の人材確保に就職フェアが行われているが、求職者は年々減少している。介護職員として働く方から、「夢と希望を持って就職したが、慢性的な人材不足でゆとりがなく、忙しすぎて指導や介護職員同士の人間関係がうまく行かず、辞めて行く人が多い。悪循環を生んで、結局、利用者さんにとって対応できない」と悩まれている声が届いた。そうした職場環境を把握しているか。市としての手立てが考えられているか。

答

健康福祉部長

身体介助による重労働や人材不足による不規則な勤務体制等、厳しい状況は把握していますが、現在のところ改善は非常に難しく、具体的な方策は見出せていません。しかし、今後とも



介護労働者の構造と採用・離職率  
(厚生労働省 HP「第4回福祉人材確保対策検討会 (H26. 7.25) 参考資料1」より)

すまず人材を必要とされている職場であることも認識しています。より働きやすい職場となる取り組みが進められるよう働きかけ、関係者が知恵を出し合い、福祉現場のイメージアップについて連携、協力して進めます。

イメージアップを図っても、現実とのギャップがあれば続かない。現実には働きやすい環境を整えることが必要だ。  
2日続けての夜勤もあり、夜勤明けは休日扱いなので、夜勤夜勤で勤務しているにも関わらず連休扱い

となる。こうした厳しい勤務状況であるにも関わらず、給料が安い。そうした職場環境では、連携や人間関係がうまく行かないことは当然考えられる。  
介護老人施設では、日中は1ユニット10人に対し一人の職員が対応するが、夜間は2ユニット20人を一人で見守らなければならず、並大抵のことではない。火災が発生し、多くの入所者が犠牲になられたニュースを何度も聞く。実態をしっかりとつかんで、施設側と一体となって手立てを尽くすことが必要だ。改善策を求めておきたい。

その他の質問

● 原発再稼働に反対の意思表示を

● 安曇川駅周辺のまちづくり等